

# 2017年1月期（第33期）決算説明会

株式会社ACCESS

2017年3月15日

ACCESS™

ACCESS CO., LTD.

© 2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. | Confidential

# 本資料の注意点

- 本資料に含まれる業績目標等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社グループで判断したものです
- 将来数値には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来数値と異なる場合がありますので、この将来数値に全面的に依拠して、投資等の判断を行なうことは差し控えてください

●ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。●IP Infusion、IP Infusionロゴ、ZebOSは、IP Infusion Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●その他、文中に記載されている商標、会社名およびロゴマークは、それぞれ所有する会社に帰属します。

# 目次

- I. 2017年1月期（第33期） 決算概況
- II. 2017年1月期（第33期） セグメント別事業状況
- III. 取り組み紹介
- IV. 2018年1月期（第34期） 計画

## *Appendix*

## I. 2017年1月期（第33期） 決算概況

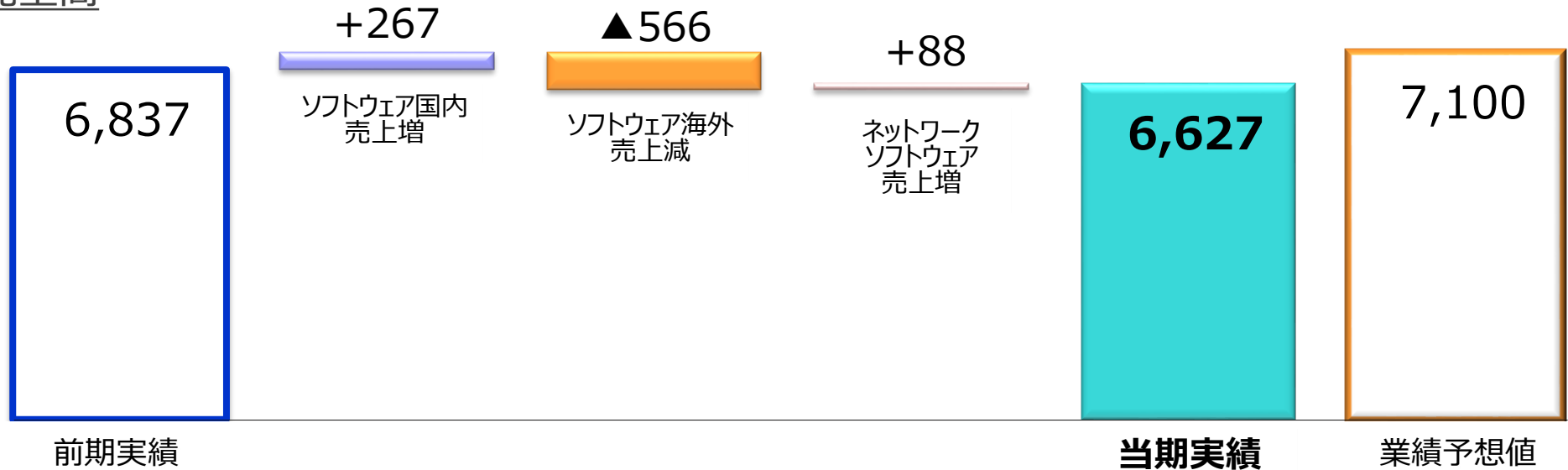
# 2017年1月期 通期業績ハイライト （単位：百万円）

売上高は前期比減収となったものの、営業利益が黒字化し業績予想値を大幅に上振れ

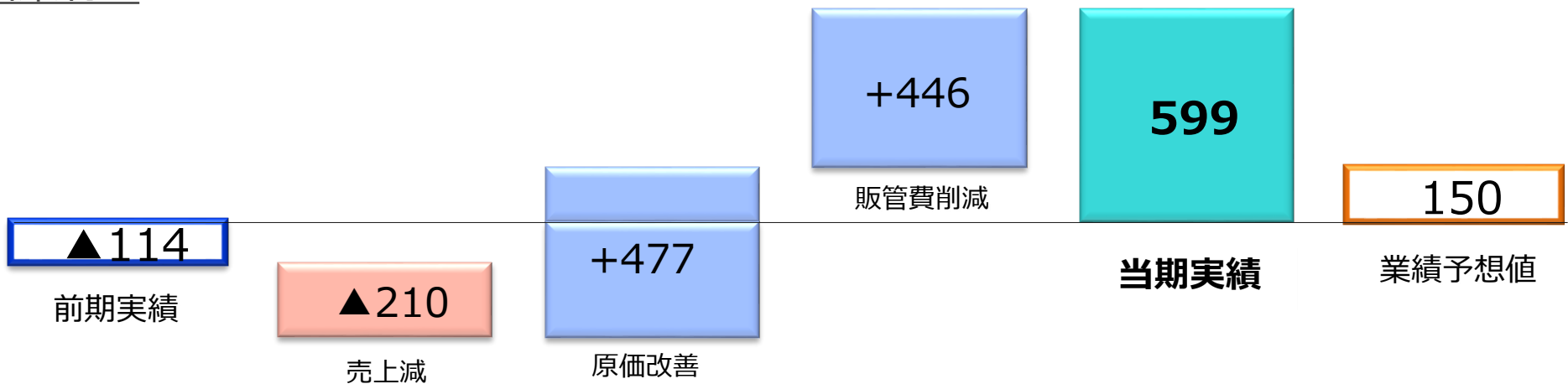
	前期実績	当期実績	前期比	業績予想値 <small>（2016/3/15 公表）</small>	差異
売上高	6,837	<b>6,627</b>	▲210	7,100	▲472
売上総利益	3,270	3,538	+267	—	—
営業利益	▲114	<b>599</b>	+713	150	+449
営業外損益	141	▲206	▲348	—	—
経常利益	27	<b>392</b>	+364	150	+242
特別損益	▲1,247	22	+1,269	—	—
法人税等	98	100	+2	—	—
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	▲1,318	<b>314</b>	+1,633	80	+234

# 売上高・営業利益の前期比増減（単位：百万円）

## 売上高



## 営業利益



## II. 2017年1月期（第33期） セグメント別事業状況

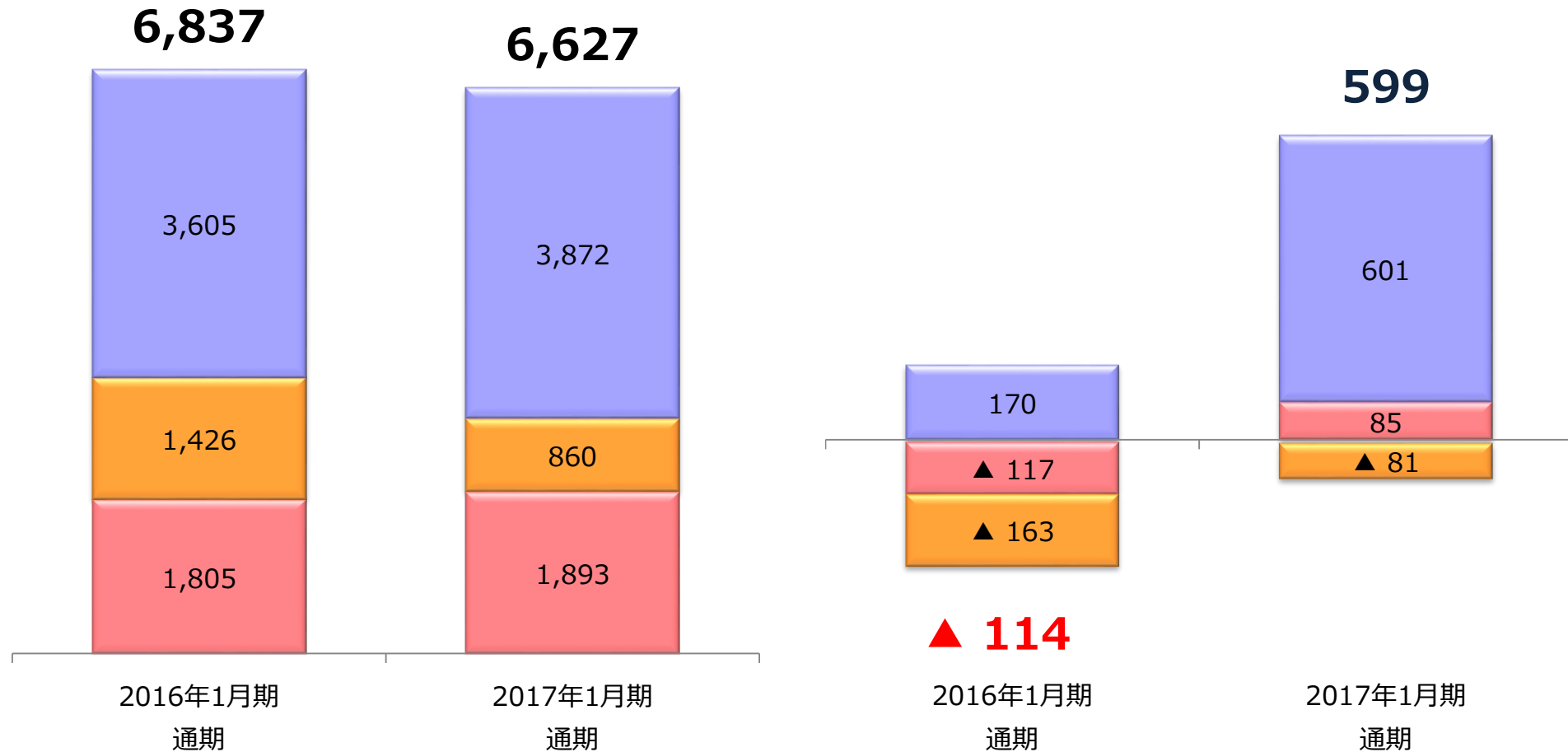
# セグメント別事業状況 （単位：百万円）

## － 概況 －

## 売上高

## セグメント利益

■ ソフトウェア事業（国内）
 ■ ソフトウェア事業（海外）
 ■ ネットワークソフトウェア事業
 ■ 調整額





# セグメント別事業状況 （単位：百万円、人）

## － 前期比増減 －

		前期実績	当期実績	前期比
ソフトウェア 事業 (国内)	売上高 <small>※1</small>	3,605	<b>3,872</b>	+267
	セグメント利益 <small>※2</small>	170	<b>601</b>	+431
	社員数	188	<b>199</b>	+11
ソフトウェア 事業 (海外)	売上高 <small>※1</small>	1,426	<b>860</b>	▲566
	セグメント利益 <small>※2</small>	▲163	<b>▲81</b>	+81
	社員数	108	<b>68</b>	▲40
ネットワーク ソフトウェア 事業	売上高 <small>※1</small>	1,805	<b>1,893</b>	+88
	セグメント利益 <small>※2</small>	▲117	<b>85</b>	+203
	社員数	250	<b>266</b>	+16

- IoT分野を中心に増収
- 原価抑制及び販管費削減により大幅に利益改善

- 中韓の事業規模適正化に伴い、売上高が減少
- 損益改善したが、赤字案件の影響により黒字に届かず

- 増収・増益を実現し、黒字化
- 「OcNOS™」の事業立ち上がり

※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦後の営業利益

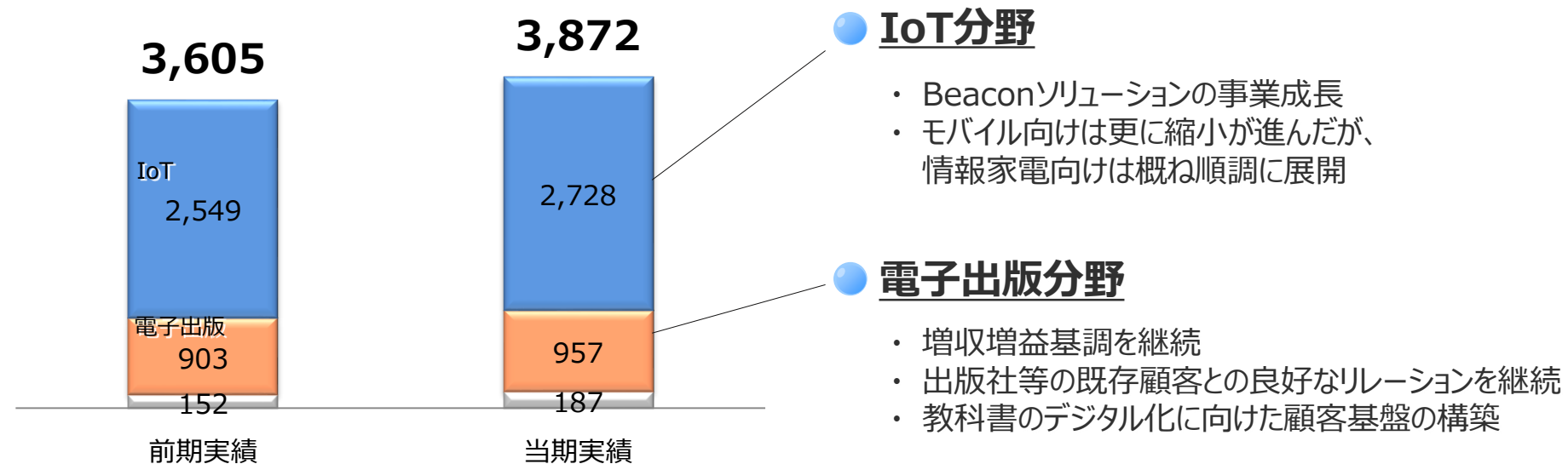
# セグメント別事業状況（単位：百万円、人）

## － ソフトウェア事業（国内） －

	前期実績	当期実績	前期比	業績予想値
売上高 <sup>※1</sup>	3,605	<b>3,872</b>	+267	3,800
セグメント利益 <sup>※2</sup>	170	<b>601</b>	+431	
社員数	188	<b>199</b>	+11	

※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦後の営業利益

### 売上推移



# セグメント別事業状況（単位：百万円、人）

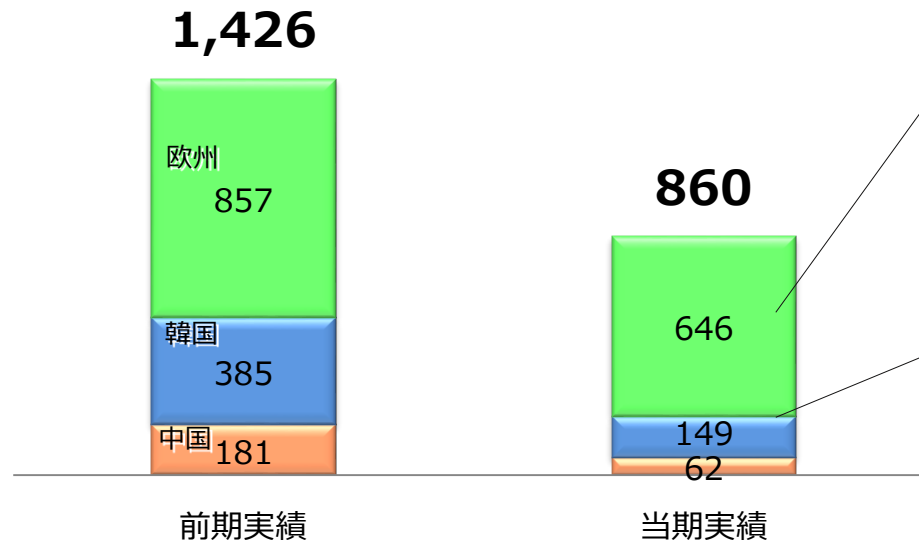
## － ソフトウェア事業（海外） －

	前期実績	当期実績	前期比
売上高 <sup>※1</sup>	1,426	<b>860</b>	▲566
セグメント利益 <sup>※2</sup>	▲163	<b>▲81</b>	+81
社員数	108	<b>68</b>	▲40

業績予想値
1,200

※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦後の営業利益

### 売上推移



#### ● 欧州拠点

- ・ 不採算案件が発生し、終息の目途は立ったものの、営業活動に影響

#### ● 中国拠点・韓国拠点

- ・ 組織再編を完了し、事業規模を適正化
- ・ 売上は減少したが、損益は改善

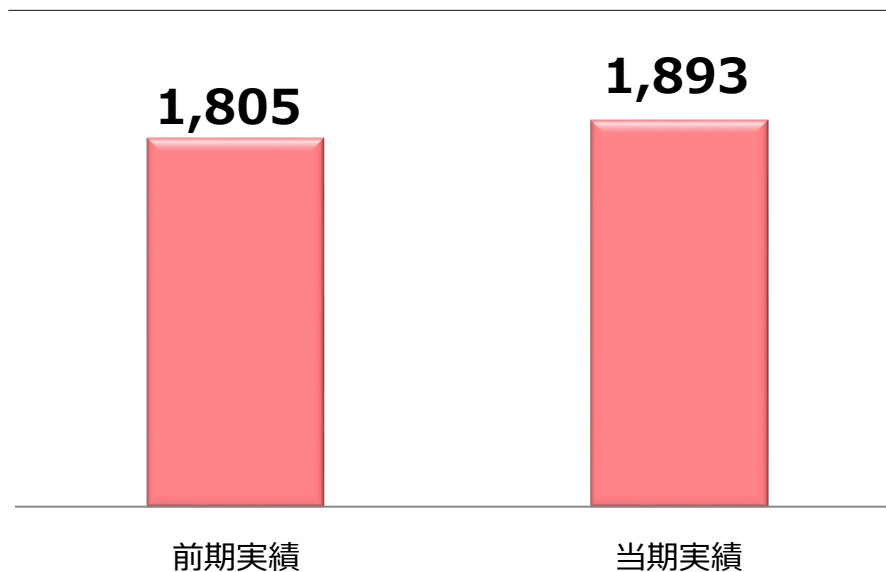
# セグメント別事業状況（単位：百万円、人）

## － ネットワークソフトウェア事業 －

	前期実績	当期実績	前期比	業績予想値
売上高 <sup>※1</sup>	1,805	<b>1,893</b>	+88	2,100
セグメント利益 <sup>※2</sup>	▲117	<b>85</b>	+203	
社員数	250	<b>266</b>	+16	

※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦後の営業利益

### 売上推移



### ● 米国拠点・インド拠点 **ipinfusion™** An ACCESS Company

- ・ 既存事業の「ZebOS®」は安定的に事業推進
- ・ ネットワーク仮想化の事業状況
  - 「OcNOS™」は、英LINXへの採用決定等、順調に顧客基盤形成が進展
  - 「VirNOS™」は、事業立ち上がりに遅れ
- ・ 全体としては増収増益し、黒字化

### III. 取り組み紹介

# ブラウザ

## ハイエンド機器向けからIoTゲートウェイ機器向けまで、カバー範囲を拡大

### ・ハイエンド・・・車載機器、TV、ゲーム機 等

- 車載 : インフォテインメント（情報管理+エンタメ）分野へブラウザを提供
- TV : 4K8K放送（高度BS）への対応
- ゲーム : 任天堂の最新ゲーム機「Nintendo Switch」に採用

### ・ローエンド・・・小型デバイス、センサーを集約するIoTゲートウェイ

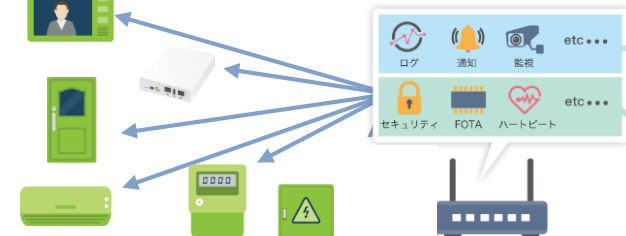
- IoTサービスの前提である、多種多様なデバイスのインターネット接続・Web化を実現
- データ収集・エッジ処理・クラウド連携を実現するエッジコンピューティングエンジンを提供



#### ハイエンド・ミドルレンジ向け



#### エッジ機器向け



# Beacon



## セゾン自動車火災の新サービス 「つながるボタン」に採用

- ・通常時：「運転診断」サービス
  - 急ブレーキ・急ハンドルなど運転情報を蓄積
  - データをアルゴリズム解析
- ・緊急時：「緊急通報」サービス
  - 衝撃検知でサポートセンターへ自動通報
  - ボタンを押して専門スタッフへ連絡

「つながるボタン」

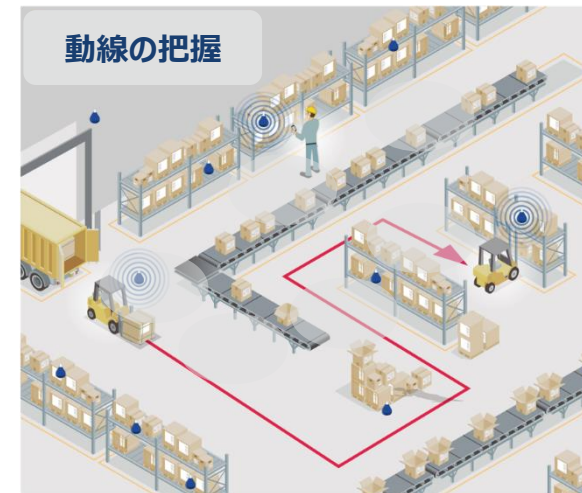


「つながるアプリ」画面イメージ



## 業務用途ソリューションの提供拡大

屋内で人やモノの位置情報を測位し  
業務効率化に活用



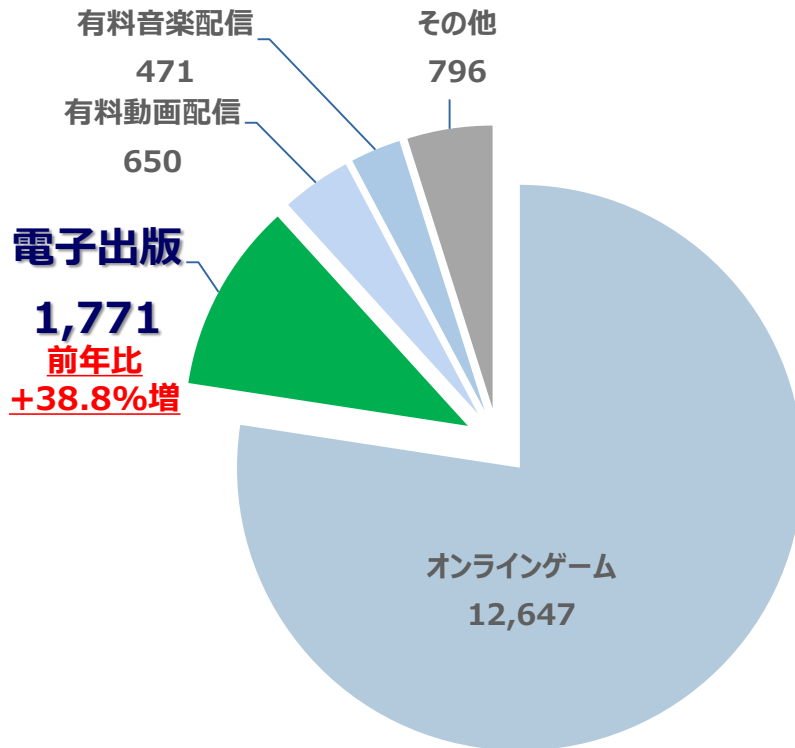
# 電子出版

## 成長市場において、電子書籍に高付加価値をもたらすプラットフォームの提供に注力

電子出版は1,700億円規模の市場に成長

新たなビジネスモデルへの対応

デジタル系分野の『BtoC-EC』市場規模 単位：億円  
(2015年)



### ・ 多様な課金形態をサポート

- 広告や仮想通貨モデルへの対応
- レンタルの仕組み導入
- マネタイズの仕組みの進化

### ・ 読者の反応をリサーチ

- 読書傾向の分析
- 作品づくり+プロモーション支援

### ・ ユーザビリティの飛躍的な向上

- ビューワの高速化・操作性向上

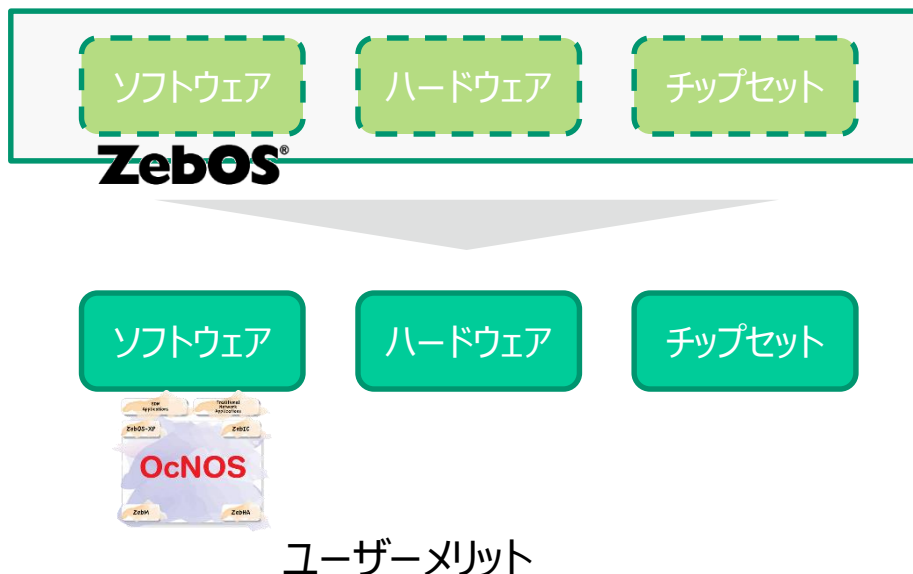


経済産業省「平成27年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備」より



# ネットワーク仮想化

柔軟かつ容易なネットワーク構築・大幅なコストダウン実現に向け  
ハードウェアの汎用化 / ソフトウェア制御・仮想化への流れが加速



(従来) 設計、製造・販売まで一気通貫

- ・ ハードとソフトの分業化
- (今後) ・ 仮想化によるソフトウェア制御
- ・ 汎用品の利用拡大とオープン化 (White Box化)

当社の取り組み方針

## ・ 柔軟性の向上

- ソフトウェアの選択肢が多様化
- ベンダーロックインの回避
- 構築、拡張が容易

## ・ 設備投資・運用コストの圧縮

## ・ 通信キャリア品質のネットワークOS提供

- ZebOS®の実績に裏打ちされた技術力

## ・ 戦略パートナー企業網を構築し営業推進

- DELL他多数のパートナーと提携
- 英LINX等の顧客基盤を構築 (London Internet Exchange)

# 将来へ向けた投資

## 組み込みソフトウェア開発の強化

### 株式会社ノアを完全子会社化

(2016年10月1日より)

「株式会社ACCESS NOA」に社名変更)

組み込み開発力を活用し、顧客基盤の有効活用と  
ビジネス領域の拡大を推進



### ACCESS™

- ・ 製品開発
- ・ 技術力、専門性
- ・ 高付加価値



### ACCESS NOA

- ・ 組み込み開発・SI
- ・ 顧客密着型
- ・ 価格競争力

## 地震動速報ソリューションの開発・事業化

### 株式会社ミエルカ防災と資本業務提携

(2017年3月15日発表)



- ・ 地震動速報ソリューション「ユレーマス」の営業協力
- ・ 「ユレーマス」とACCESSのマルチスクリーン対応情報配信システムを融合したソリューション開発



## IV. 2018年1月期（第34期）計画

## 2018年1月期（第34期）計画（単位：百万円、%）

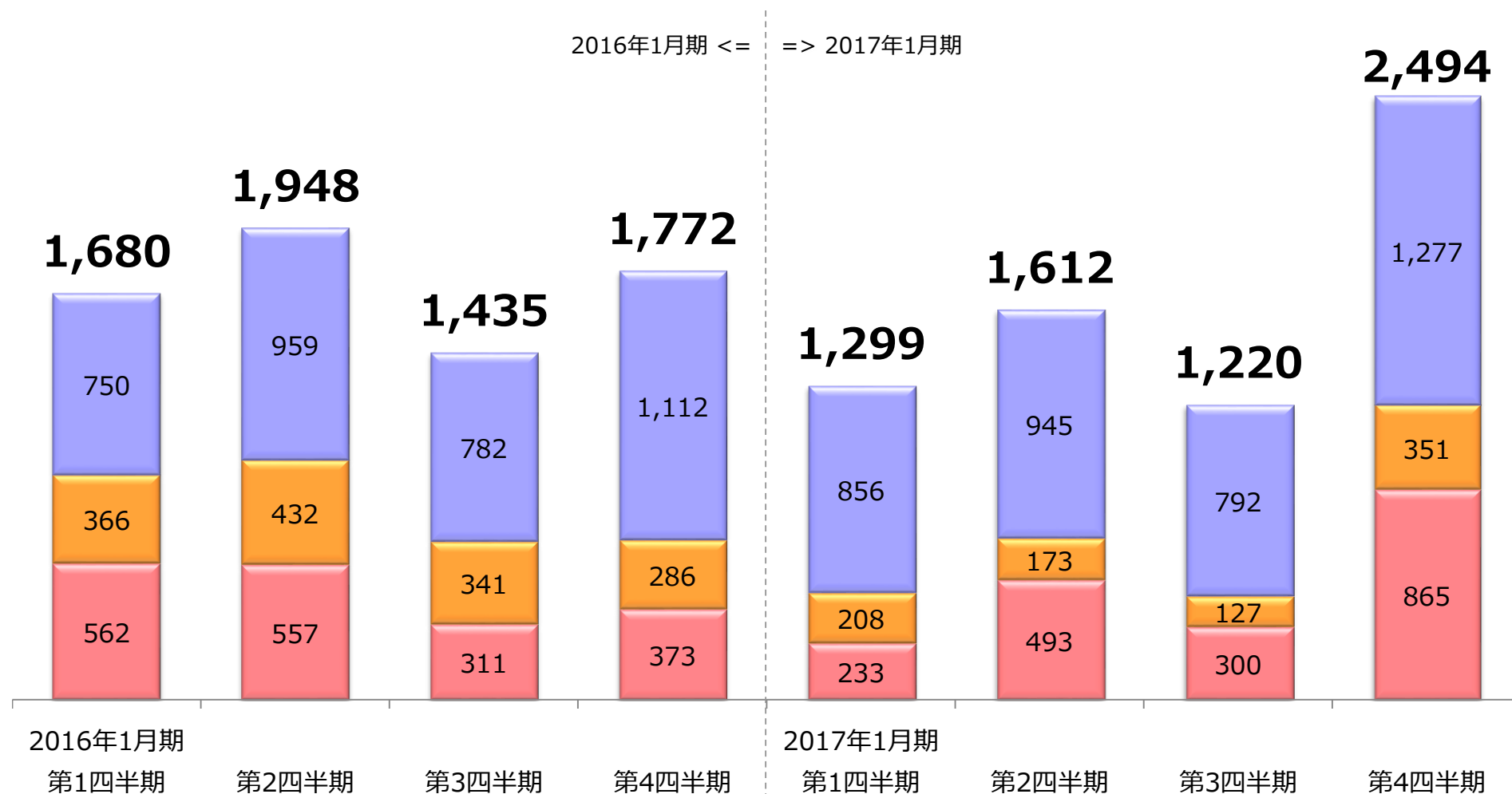
	2017年1月期 実績	2018年1月期 業績予想値	増減額	増減率
売上高	6,627	<b>7,500</b>	+872	+13.2%
営業利益	599	<b>800</b>	+200	+33.5%
経常利益	392	<b>800</b>	+407	+104.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	314	<b>600</b>	+285	+90.5%
一株当たり 当期純利益(円)	8.14	<b>15.50</b>	+7.36	—

# *Appendix*

1. セグメント別売上高の推移
2. セグメント別営業損益の推移
3. 営業外損益・特別損益の明細
4. 連結貸借対照表（要約）
5. 連結キャッシュ・フローの状況（要約）
6. 人員の推移
7. 2017年1月期 下期 開示一覧
8. セグメントの変更について
9. セグメント別計画

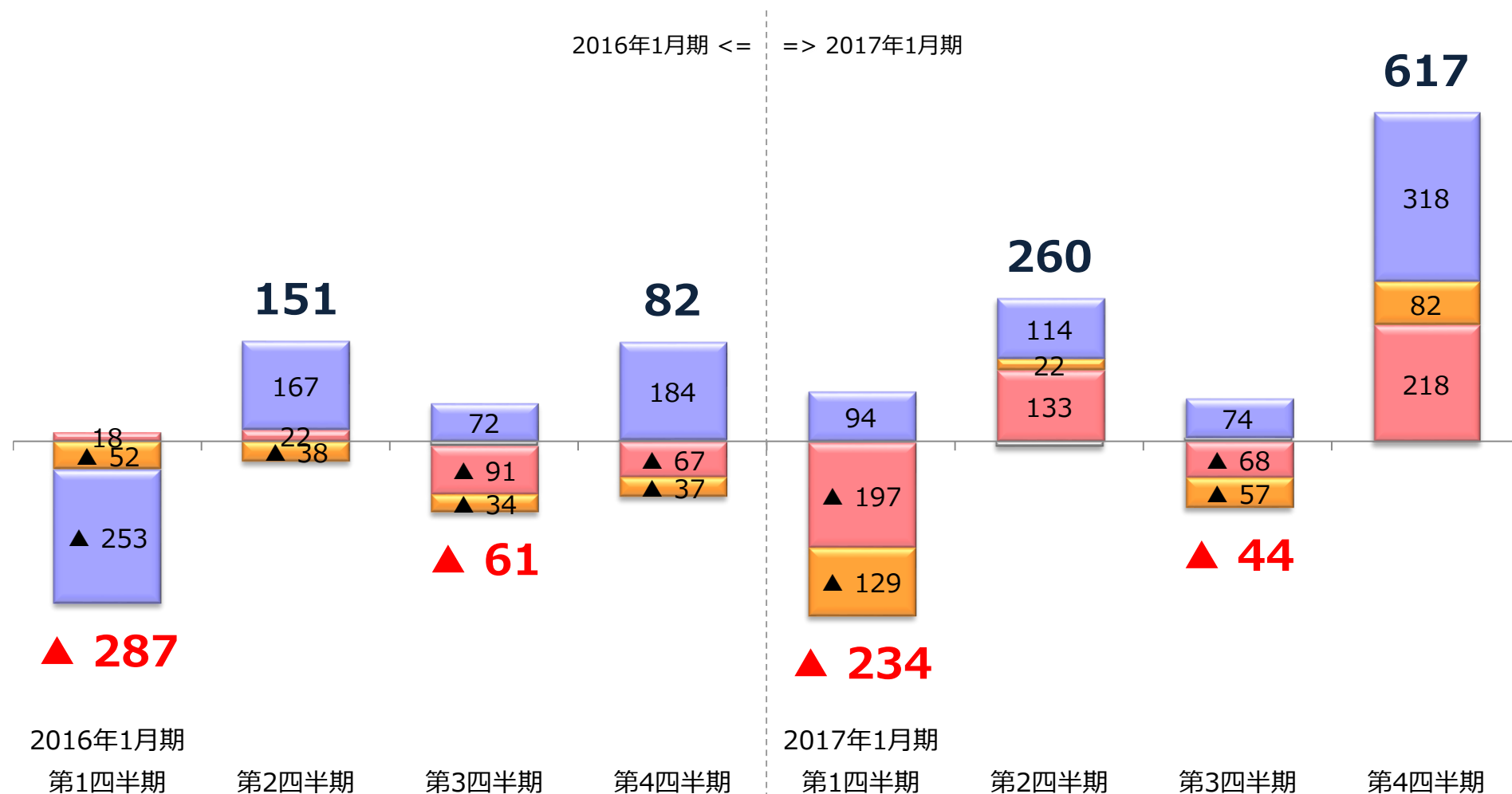
# セグメント別売上高の推移 (単位：百万円)

■ ソフトウェア事業（国内）
 ■ ソフトウェア事業（海外）
 ■ ネットワークソフトウェア事業



# セグメント別営業損益の推移 (単位：百万円)

■ ソフトウェア事業（国内）
 ■ ソフトウェア事業（海外）
 ■ ネットワークソフトウェア事業
 ■ 調整額

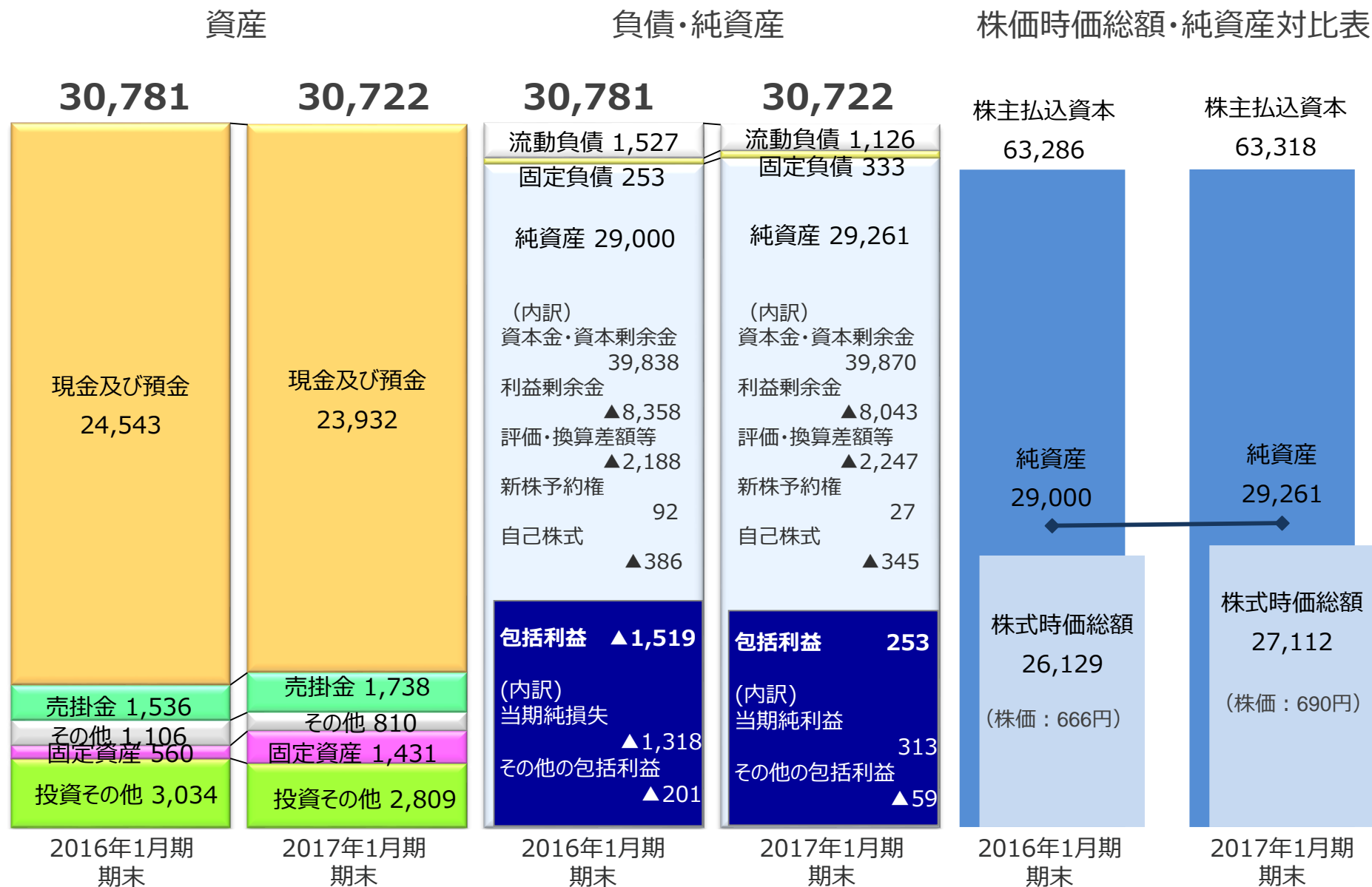




# 営業外損益・特別損益の明細 (単位：百万円)

	科目名	ACCESS (本社)	子会社	修正	連結合計
営業外収益	受取利息	45	19	▲6	58
	その他	3	5	▲5	3
	<b>合計</b>	<b>48</b>	<b>25</b>	<b>▲11</b>	<b>62</b>
営業外費用	為替差損	138	▲3	5	141
	投資事業組合運用損	116	-	-	116
	持分法による投資損失	-	-	8	8
	その他	0	16	▲13	2
	<b>合計</b>	<b>255</b>	<b>13</b>	<b>0</b>	<b>269</b>
特別利益	新株予約権戻入益	14	34	▲16	32
	投資有価証券売却益	8	-	-	8
	その他	7	0	▲7	0
	<b>合計</b>	<b>30</b>	<b>35</b>	<b>▲24</b>	<b>41</b>
特別損失	特別退職金	-	10	-	10
	損害賠償金	-	3	-	3
	減損損失	-	3	-	3
	固定資産除却損	2	0	-	2
	関係会社株式評価損	69	-	▲69	-
	関係会社貸倒引当金繰入額	37	-	▲37	-
	<b>合計</b>	<b>109</b>	<b>17</b>	<b>▲106</b>	<b>19</b>

# 連結貸借対照表（要約）（単位：百万円）



# 連結キャッシュ・フローの状況（要約）（単位：百万円）

	2016年1月期 通期	2017年1月期 通期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	560	121
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	819	▲938
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	3	▲30
IV. 現金及び現金同等物に係わる為替換算差額	▲58	▲157
V. 現金及び現金同等物の増加額	1,325	▲1,005
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	23,855	25,163
VII. 連結除外に伴う現金同等物の減少額	▲17	-
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	25,163	24,157

税金等調整前当期純損失	: ▲1,220 百万円	税金等調整前当期純利益	: 414 百万円
新株予約権戻入額	: ▲435 百万円	売上債権の増加	: ▲227 百万円
事業構造改善費用	: 1,656 百万円	減価償却費	: 188 百万円
売上債権の減少	: 973 百万円	為替差損益	: 124 百万円

定期預金の預入による支出	: ▲433 百万円	無形固定資産の取得による支出	: ▲890 百万円
定期預金の払戻による収入	: 660 百万円	有形固定資産の取得による支出	: ▲169 百万円
有形固定資産の売却による収入	: 1,087 百万円	定期預金の預入による支出	: ▲109 百万円
無形固定資産の取得による支出	: ▲237 百万円	定期預金の払戻による収入	: 99 百万円

# 人員の推移

(単位：人)		2016年1月期				2017年1月期			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	日本	184	197	185	182	171	171	190	185
	台湾	8	5	5	6	10	11	12	14
<b>ソフトウェア事業（国内）</b>		<b>192</b>	<b>202</b>	<b>190</b>	<b>188</b>	<b>181</b>	<b>182</b>	<b>202</b>	<b>199</b>
	アジア（日本以外）	81	75	67	62	24	23	23	23
	北米	1	1	1	1	1	1	1	1
	ヨーロッパ	41	41	46	45	44	47	44	44
<b>ソフトウェア事業（海外）</b>		<b>123</b>	<b>117</b>	<b>114</b>	<b>108</b>	<b>69</b>	<b>71</b>	<b>68</b>	<b>68</b>
	日本	3	3	3	3	3	3	3	3
	アジア（日本以外）	196	196	217	221	217	242	238	235
	北米	24	24	26	26	28	28	28	28
<b>ネットワークソフトウェア事業</b>		<b>223</b>	<b>223</b>	<b>246</b>	<b>250</b>	<b>248</b>	<b>273</b>	<b>269</b>	<b>266</b>
	日本	49	34	29	27	28	30	30	30
	<b>本社部門等</b>	<b>49</b>	<b>34</b>	<b>29</b>	<b>27</b>	<b>28</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>
<b>合計</b>		<b>587</b>	<b>576</b>	<b>579</b>	<b>573</b>	<b>526</b>	<b>556</b>	<b>569</b>	<b>563</b>

※全て各四半期末時点における人員数

※2016年1月期の人員数は、2017年1月期の組織体制に基づき組み替えて表示

# 2017年1月期 下期 開示一覧 ①

		適時開示	報道発表
第3四半期	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平成29年1月期 第2四半期（累計）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ（8月31日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「LINE Beacon」を利用した映画『バイオハザード：ザ・ファイナル』のプロモーションイベントに、ACCESSの「ボタンビーコン™」が採用</li> </ul>
	9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACCESSの「スマートハウス向け電カマネージメントソリューション」にローム製Wi-SUNモジュールを搭載し、両社グローバルで拡販開始</li> <li>■ 世界最大級のIXPプロバイダ、London Internet Exchange の新ネットワークにIP Infusionの統合ネットワークOS「OcNOS™」が採用</li> <li>■ プロバスケットボールチーム アースフレンズ東京Zと地域活性化のプロモーションに「ACCESS™ Beacon Framework」が採用</li> <li>■ ACCESS、業務用途に特化した屋内の位置情報取得ソリューション「ABF® for Location」を提供開始</li> </ul>
	10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学研グループの新電子書籍配信サービス「Beyond Publishing」のプラットフォームに、ACCESSの「PUBLUS®」が採用</li> <li>■ ACCESS、「Pepper」と「NetFront® Agent」を連携し、コミュニケーション型HEMSを実現</li> </ul>

# 2017年1月期 下期 開示一覧 ②

		適時開示	報道発表
第4四半期	11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACCESS、スタンプを押すだけで介護記録が自動生成できる、介護業務支援システム「ケアリス™」を開発、提供開始</li> <li>■ ACCESS、グッドツリー、ビーブリッド、三昌商事、介護事業のIT化ワーキンググループ「ケアフォレスト™」を設立、ひとにやさしいITで業務改善を推進</li> <li>■ スマートフォン向けメールアプリ「CosmoSia®」が UQ mobileの推奨メールアプリに選定、2016年秋より、提供開始</li> <li>■ 新村印刷に、デジタル版教科書・教材用コンテンツ制作ソリューション「Lentrance Creator®」が採用</li> <li>■ セゾン自動車火災のIoTを活用した新サービスの「つながるボタン」を共同開発、提供</li> </ul>
	12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACCESSとチームスピリット、IoT技術の活用で店舗、工場の「働き方改革」を実現する新サービスを発表</li> <li>■ 文英堂に、デジタル教科書・教材用ビューア「Lentrance® Reader」が採用</li> <li>■ 滋賀県初のプロ野球クラブ、滋賀ユナイテッドBCに「ACCESS™ Beacon Framework」が採用</li> </ul>
	1月		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACCESSとエスディーテック、次世代HMI対応の車載インフォテインメント開発を効率化するソリューションの提供で協業</li> <li>■ ACCESS、LoRaWAN™を用いたLPWAソリューションを発表</li> <li>■ 教育同人社に、デジタル教科書・教材用ビューア「Lentrance® Reader」が採用</li> </ul>

# セグメントの変更について

ガバナンス強化のため経営体制を刷新し、2018年1月期より報告セグメントを変更

現行セグメント（2017年1月期）



変更後セグメント（2018年1月期～）



# セグメント別計画 (単位：百万円)

国内事業		2017年1月期 実績	2018年1月期 業績予想	増減額
	売上高 <sup>※1</sup>	3,685	4,150	+464
	セグメント利益 <sup>※2</sup>	673	720	+46
欧米事業		2017年1月期 実績	2018年1月期 業績予想	増減額
	売上高 <sup>※1</sup>	2,541	2,600	+58
	セグメント利益 <sup>※2</sup>	47	75	+27
アジア事業		2017年1月期 実績	2018年1月期 業績予想	増減額
	売上高 <sup>※1</sup>	399	750	+350
	セグメント利益 <sup>※2</sup>	▲119	5	+124

※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦後の営業利益

2017年1月期の実績は、変更後のセグメント区分に基づき組み替えて記載